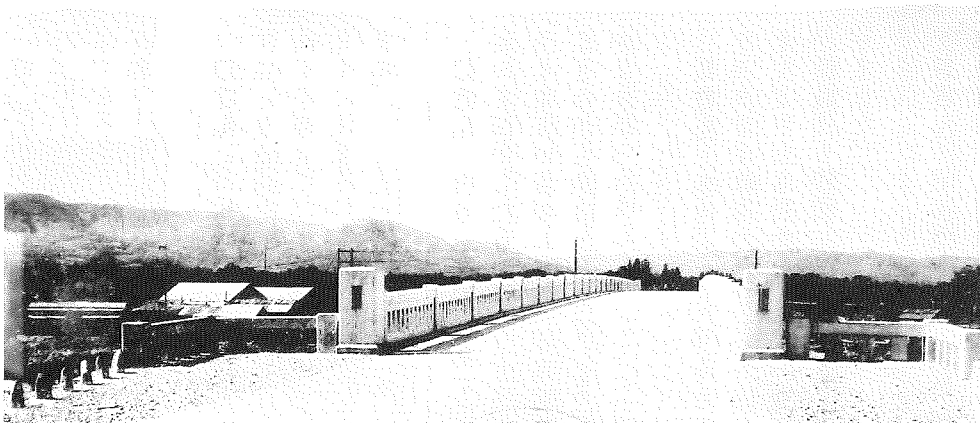


万世橋の渡り初め (昭和12年11月2日)



後方山並み：早坂山・栗子山



新しくなったコンクリート橋～万世橋 (後方山並み：斜平山)

この改築で自動車の交通ができるようになったが、冬期間は積雪が多く不通であった。この不便を解消することで建設されたのが現在の栗子ハイウェイである。昭和四十一年五月二十九日、5年の難事を克服しての開通である。

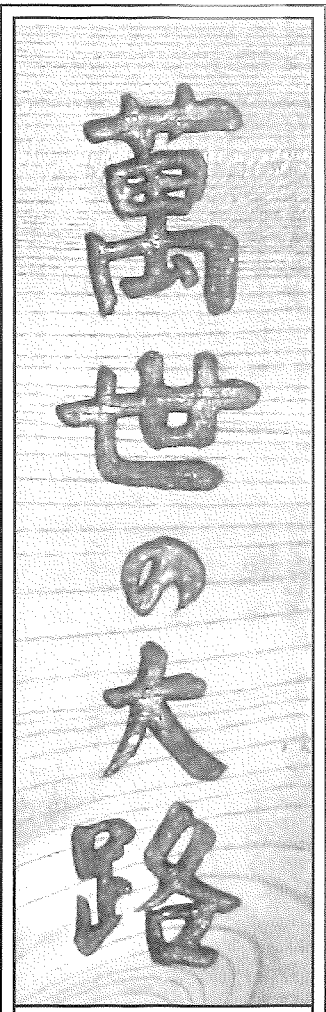
今年三月に東北自動車道の八九七二メートルの新栗子トンネルが貫通し、米沢福島間二〇分の高速道路として平成二九年開通予定となった。

新しい万世橋は日本でも数少ない構造であった。ゲルバー工法といわれるもので、振動に強い橋で、ヒンジ（結合部）と呼ばれる人の体の関節のような働きをする部分と、橋桁に丸いコロがついていた。

完成したコンクリート橋は、羽黒川の中州を利用して架けられた明治の木造吾嬭橋が三本掛けられていたものを一直線に架け替えられた。

昭和に入り自動車も普及したことに伴い、栗子隧道、吾嬭橋など万世大路は大改修された。昭和十二年十一月二日に完成祝賀会を催し、万世橋の渡橋式が盛大に挙行された。地元民をはじめ関係者多数がこの橋の渡り初めをした様子の写真が見つかった。

(写真提供/金谷坂野祐一氏)



第16号
平成26年10月1日発行
発行者
歴史の道 土木遺産万世大路保存会
会長 田畑 實
事務局
万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381

